



学園記念ホール  
スタンドグラス



Information Form

Nichi-On

創立101周年

since 1903

# The Campus News

- キャンパス ニュース - 日本音楽学校 幼児教育科 ・ 学生向 情報

9 月 号  
2004. 第 101 号  
編集発行 学園事務局

## 9月～11月の行事予定

幼児教育科(保育士コース/保育士・幼稚園教員コース)

1年

- 9月1日(水) 夏期休業後授業開始
- 13日(月)～17日(金) 前期試験
- 18日(土) 前期授業終了
- 20日(月) 敬老の日(休校)
- 21日(火)～30日(木) 追・再試期間
- 23日(木) 秋分の日(休校)
- 10月1日(金) 開校記念日(休校)
- 11日(月) 体育の日(休校)
- 13日(水) 後期授業開始
- 11月3日(水) 文化の日(休校)
- 23日(火) 勤労感謝の日(休校)

2年

- 8月31日(火) 夏期休業後授業開始
- 9月20日(月) 敬老の日(休校)
- 23日(木) 秋分の日(休校)
- 24日(金)～30日(木) 前期試験
- 30日(木) 前期授業終了
- 10月1日(金) 開校記念日(休校)
- 4日(月)～8日(金) 追・再試期間
- 11日(月) 体育の日(休校)
- 13日(水) 後期授業開始
- 11月3日(水) 文化の日(休校)
- 23日(火) 勤労感謝の日(休校)

行事予定は「追加・変更」になることがありますので、校内掲示等に注意して下さい。

### 平成16年度オーストラリア研修旅行 ～参加者募集～

海外研修旅行も今回で11年目を迎えます。昨年に引き続き、シドニー、メルボルンの2都市をまわり、現地の保育園や幼稚園、学校を訪問します。

オーストラリアの子供たちと一緒に歌ったり、遊んだりする実習も体験できます。

まだ、少し、募集人数にゆとりがありますので、参加を希望する学生は申込用紙を事務所に提出してください。(申込書は事務所にあります)先着順にて、参加人数が30名になり次第締め切ります。

<研修旅行期間> 平成17年3月12日(土)  
～3月18日(金)  
<参加費用> 194,000円



### 夏休み中の教室工事についての報告

夏休み中に8-1教室の机とイスが新しくなり、教室全体が明るい感じになりました。また、6号館の1階から3階までの教室のドアも新しくなり、開閉しやすくなりました。

た。そして、6号館4階教室の入り口に今までガラス扉が2ヶ所ありましたが、それを1ヶ所にしました。

教室の内側に3cmぐらいの小さな段差がありますが、出入りの際は、足元に注意してください。

## 「実習を終えて」

保幼2B学生  
山極 彩

2月と同じで、自分が卒園した幼稚園だったので、少しは安心感がありましたが、責任実習に対する不安でいっぱい状態で実習初日の朝を迎えました。



私のことを覚えていた子もいて、「前に来た先生だ」と言って笑顔でそばに来てくれたときは、とても嬉しかったです。

今回はずっと同じクラスに入って、10分間くらいの部分実習から始まり、半日実習、一日実習、責任実習という流れでした。自分が中心となって計画を立てて保育する時間が長くなるにつれて、先生になるんだということを実感し、この仕事の大変さや難しさが見えてきました。

責任実習では、私の好きな音楽に関することをやりたいと思い、リトミックを選びました。歌ったり体を動かしたりすることが大好きなクラスだったので、子どもたちは楽しそうにやっていて、ほっとしました。ピアノの音だけでなく目で見てわかるような工夫が足りなかったことや時間配分など、実際にやってみて気付いたことがたくさんあり、勉強になりました。

実習中には遠足、お楽しみ会、内科検診、参観日があり、普段とは違う保育の様子や準備も見ることができました。参観日では保護者と話す機会があって、子どもが家で私の話をしているということを知り、一緒に過ごした時間がちゃんと子どもたちの心に残っていたのを感じて嬉しくなりました。

実習が終わり、就職したときに本当に自分一人の力で保育することができるのだろうかという不安もありますが、自分のクラスをもってたくさんのお子たちに出会えるのが楽しみでもあります。

実習でクラスのお子たち全員からもらった似顔絵のプレゼントは、私にとって大切な宝物です。

保2B学生  
牧田 亜弥

今回の保育園実習では、部分実習はもちろんのこと責任実習もあり、緊張と不安を抱えて実習に臨むことになりました。最初の一週目の後半から部分実習として手遊びや紙芝居の読み聞かせなどをし、責任実習に備えました。しかし、いざ、責任実習をやってみると、声掛けやクラス全員を見る配慮など、緊張と責任というプレッシャーで上手く出来なかった部分が多々ありました。でも自分が計画した制作にとっても楽しそうに取り組んでいる子どもたちの姿に、私はとてもうれしく思いました。保育士という職業の難しさを知ると同時に、子どもたちの楽しむ姿や喜ぶ姿を見ることで、とてもやりがいのある仕事であることを、改めて感じることができました。



施設実習は、通所の障害者施設へ行きました。軽度とはいえ、様々な障害を抱えた方がいて、どう接していいのかかわからず、とても不安でした。しかし利用者の方から話し掛けてくれたりと、とても楽しく会話をすることができました。あるとき、私のある言葉を利用者の方が聞き違えてしまい、問題が起きてしまったことがありました。職員の方が間に入ってくれさり、その問題は解決しましたが、その利用者の方は精神的に不安定で、私が発した言葉を自分のことに対する悪口だと思い込んでしまったようでした。そのときの職員の方の対応から、利用者一人一人に合った適切な対応が大切だということを感じました。

保育園実習・施設実習から、共通して学べたことは信頼関係がとても大切だということです。私自身、子ども・親・職員との信頼関係が築けるような保育士になりたいと思います。4月からは現場で保育士として働くこととなります。それまでに多くのことを学び、今回の実習で学んだことを活かせるように自分の中にきちんと吸収しておきたいです。